

東京五輪

聖火リレー 訪問地決定

来年5月14・15日 知事「盛り上げたい」

やまぐち2020五輪・パラリンピック等推進会議(会長・村岡嗣政知事)が4日、県庁で開かれ、県内で聖火リレーが実施される全自治体での訪問地が決まった。リレーは来年5月14、15日に13市を走り、両日の最後の到着地で記念セレモニーが開かれる。

訪問地は各市からの要望を基に会議が県のアピールにつながるかなどの基準で選んだ。1日目は、錦帯橋(岩手県)▽白壁の町並み(長門市)▽明倫学舎(秋田市)——を走り、秋市中央公園でセレモニーがある。

今後、各訪問地を軸に具体的なリレールートを作成する。会議後、村岡知事は「聖火リレーを県内でしっかり盛り上げ、一生の思い出に残るイベントを作り上げていきたい」と語った。



定された秋吉台

国市)▽白壁の町並み(柳井市)▽平和の光の碑(光市)▽下松市民体育館(下松市)▽徳山駅前ぎわい交流施設(周南市)▽防府天満宮(防府市)▽瑠璃光寺五重塔(山口市)——を經由し、山口市の中央公園で式典。2日目は、ときわ公園(宇部市)▽県立おのだサッカー交流公園(山陽小野田市)▽あるかばーと岸壁(下関市)▽秋吉台(美祿市)▽道の駅「センザキッセン」

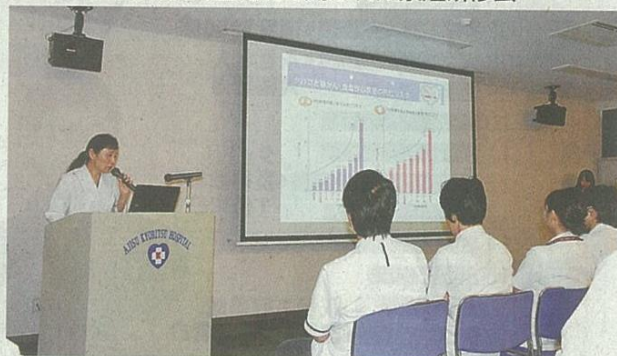
「5G」早期導入を

知事らあす国に要望書

超重点22項目

県は4日、来年度の政府予算への要望事項を公表した。次世代移動通信規格「5G(ファイブジー)」の地方への早期導入など超重点22項目で、6日に村岡嗣政知事らが東京へ、関係省庁に要望書を提出する。

阿知須共立病院で開かれた禁煙研修会



病院職員が禁煙研修

山口

「子どもをたばこから守れ」

世界禁煙デー(5月31日)に合わせて、山口市阿知須の阿知須共立病院(三好正院長)で4日、職員を対象とした禁煙研修会が開かれた。今回で4回目。約110人の職員が参加し、総合健診センター長を務める「禁煙外来」担当医の藤井郁英さん(56)が「子どもたちをたばこから守るためにわたしたちができること」をテーマに講演した。

同病院職員の喫煙状況や、喫煙者に起こる肺の変化を写真で示しながら、喫煙による体への影響を説明。たばこの煙から子供たちを守るために、受動喫煙による健康被害をどう防ぐかを考えた。

三好院長は自身の経験から、「たばこをやめてみると、思わず走りたくなる、スポーツをしたくなる。地域の皆さんや職員とともに、禁煙の意識を高めていきたい」と話した。

【堀菜菜子】

り、医師の定着支援策への財政的支援を求めたりする内容。村岡知事は「他県の知事とも問題意識は共有できていると思うので、連携も考えていきたい」と話した。

他に、中小企業の事業承継の促進、大学の地方移転や地方大学の学部設置・定員拡大などについて、

ルシステム「アイジス・アショア」について、村岡嗣政知事は4日、受け入れの可否判断時期について「国に確認しながらなので、『いつか』に当たるかどうかという思いで言ったのか分からない」と答えるに留めた。

提出する。県議会議長らも同行する。特別要望では、陸上空母離着陸訓練(FCLP)の直前に実施される訓練の騒音軽減措置▽長期航海前に艦載

コンビニ交付
通信障害発生
防府市証明書